

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あじさい		公表日		2025年1月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		限られた空間を用途や利用者の特性に応じて構造化している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員間で連携しながら臨機応変に対応している。配置基準は満たしており、加配職員の配置もしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	建物の構造上トイレは難しいがそれ以外は、バリアフリー	構造化されているかと言われると発展途上
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日消毒している施設利用後の清掃を徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	必要な際は個別のスペースを用意する準備はある。	安静室がない。個別対応のルームがない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	日々の業務後に職員間で情報共有をしながら行っている。	目標設定に対する意識が弱い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の引継ぎ、月1回の職員会議で話し合っている。毎年アンケートを実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の引継ぎ、月1回の職員会議で話し合っている。日々の関係作りの結果日常的に共有できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			外部評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	毎年研修を行っている。	研修というより、自己研鑽が必要
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		未公表 年度内に公表予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	1	半年に1回モニタリングを実施し、本人の意見も反映している。	一般的な判断としてのアセスメントシートが必要ではないか。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議の前に担当者を中心に事前会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員が共通した支援が行えるように周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		フォーマルではない
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		日々のアセスメントや保護者のニーズや本人の意向も踏まえながら、将来に必要なスキルの習得を目指して設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	日々の打ち合わせ時に最終確認を行っている。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		軸となるプログラムはあるが、毎月違う内容を立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4	1	子どもが力を発揮できるような環境を整えて支援している。	個別に対する取り組みが少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼で必ず具体的に行ってる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	改善点や因果関係を探り次の支援に活かしている。	もっと振り返りが必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		ケース記録は出来るだけ具体的に時系列がわかるように記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年1回必ず事業所で管理して実施している。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5			
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		おやつの種類を始め、様々な場面で選択することを大切にしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管が担当し、常に情報は共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		要請があればいつでも対応できる準備はしている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	必要に応じて助言を受けるため関係作りを行っている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	法人内のこども園や地域の放課後等デイサービスや地域活動支援センターと交流している。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎月状況報告書を作成し発行している。 総げ時に情報を共有。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者勉強会の案内	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	全てではないが、毎月行っている。 保護者方の情報共有を行い、送迎事故を防ぐために全校網羅している。	特定の学校としか行えていない。	
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		相談支援事業所を通して情報を共有している。		

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		過去2件実施	
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6		積極的に参加している。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に必ず行っている。 問い合わせがあれば適宜実施。	
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		半年に1回必ずモニタリングの実施。	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		同意を得られない場合は、同意を得られる内容に修正。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		日々対応している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者勉強会	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		担当者が適宜対応している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	毎月の状況報告書の発行。 ライン等を利用してしながら、活動の様子を伝えていく。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		厳重に保管している。 書類の破棄も慎重に行っている。 守秘義務の順守。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		絵カードの利用や情報量の調節、伝わりやすい内容に言い換えながら行っている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	福祉フェスタに作品を出したり、舞台パフォーマンスに出演したりしている。	将来的には実施予定(バザーや喫茶など)構想段階
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面会や電話だけでなく、ラインやメールなど保護者の使いやすいツールを利用してもらいながら実施している。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		策定、実施している。	
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	てんかん薬の頓服を事業所で管理している。	服薬内容の把握が不十分
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	保護者からの情報をもとに対応している。	定期的に確認が必要と思われる。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に文章で説明している。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		報告書を作って、改善点と原因を職員間で共有し再発防止に努めている。	
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修を実施。		

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		現状はなし
----	--	---	---	--	-------

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あじさい	公表日	2025年1月15日
利用児童数	28人	回収数	23人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2		1	少し狭いような気がする	限られた空間の中で、構造化を図りながら支援を行っている。 運動系の活動の時には、近くの公園や地域の体育館を利用している
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		2	全てを見ているわけではないのでわからない。	職員の配置が適切であることを保護者に理解している
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1		1	手洗いをきちんとしているか見て欲しい。	感染症対策については、感染症委員会を開催し対策を話し合っている。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				いつもとても丁寧にかかわっていただいで感謝しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		2	とてもいろいろな活動をして下さっているのがありがたいです。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	3	6		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3		3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23				相談等で話すことで十分救われています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1		1	共感してもらえる先生型の存在はとても大きいです。 とても感じています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	3	6		今後の課題であると考えている。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		4		事業所で作成しているマニュアルや訓練の実施については、保護者へ周知徹底出来ていないので、伝えていく必要がある。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2		5		非常災害時の訓練について、実施しているが、保護者への周知が足りていないので、伝えていく必要がある。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1				自分の知っている先生方やお友達がいるので、安心感を持って通所しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1				利用度は少ないですが、利用日当日は嬉しそうです。毎日とても楽しみに通所をしています。ありがたい居場所です。その日にあったことを楽しそうに話しています。色々な所への外出や体験をさせてもらい喜んで行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					親子共々、あじさいの支援に満足しています。急なことでもいつも丁寧に対応していただき、親子共々で安心しており感謝しています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あじさい		
○保護者評価実施期間	令和6年10月25日		～ 令和6年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	令和6年11月6日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月保護者へ日々の活動の様子報告を紙面を通して行っている。	日々の活動の様子を決められた様式に、詳しく記録に残すようにしている。	文章だけでなく、写真や動画などを通して伝えることで、より日々の様子が伝わるようにしていく。
2	18歳以降の卒業してからの目標に向かっての個別に支援を行っている。	個人の能力に応じて、就労に向けて必要なスキルの習得を目指した支援を行っている。	就労関係の事業所からの情報収集を行ったり、連携が出来るような関係作りを行ったりしながら、必要な支援に取り組んでいく。
3	子ども達が自身について、自分で選んで自分で決められるようにしている。	自分で選択できる場面を多く持つことで、選択する経験を積めるようにしている。また、選択した後に成功体験を積むことで、自己肯定感が高められるようにしていく。	特性に応じた関りの中で、自己理解を深め、自分の人生を自分で選択して決定できるような力を付けられるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催など保護者同士の交流やきょうだい同士の交流の機会がない。	父母の会や保護者会等が作られていないこともあり、交流自体が難しい。	父母の会や保護者会等を作ることで、保護者やきょうだいの交流が出来るようにしていく。
2	打ち合わせはしっかりと出来ているが、振り返りがケース記録や行事記録の記入のみになってしまい、職員間での共有が出来ていないところがある。	就業時間の関係上、振り返りの時間を持つことが難しい。また、次の支援に繋げていく意識が低い。	記録はしっかりと出来ているので、振り返りの時間や文章での回覧など職員間の共有手段を考えていく。結果を踏まえて次の支援に繋げていく必要がある。
3	緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアル等のマニュアル類は作成や非常時の訓練等の実施などを行っているが、保護者への周知が足りないで理解されていないことがある。	マニュアル類や訓練の実施などが保護者への周知が足りないで、実施しているか不明なところがある。	非常時の対応について、保護者との共有を行っていく。